夕撃旅団 2022　増刊号

ウクライナ・ロシア戦争を理解するための基礎知識

-プーチンのノヴォロシア-

■新しいロシアと狂気

「いいかね、帝政時代、この一帯はノヴォロシアだったのだ」

“Напомню, пользуясь терминологией царских времен – это Новороссия”

2014 年 4 月 17 日に行われた対話式記者会見で、プーチンはウクライナ南部の六つの州の名を上げると、そう言ってのけた。ノヴォ-ロシアは、直訳すれば「新ロシア」であり帝政ロシア時代のウクライナ南部の名称である。ただし彼の認識は日本人の私から見ても間違いだらけなのだが、この点は後で取り上げる。

同時に「ノヴォロシア」はプーチンの思い描く領土的野心で、ウクライナを飲み込み世界に覇を唱えるプーチンの「新ロシア」の意味も持っていた。その根底にあるのは「古き良き」ソビエト連邦への回帰願望であり、強烈な領土的野心でもある。この古臭い野心を原点にして今もプーチンは動いている。そしてその狂気の土台を組み上げたのが世界に広く分布する地政学を語る馬鹿の中でも最高峰の馬鹿、ドゥーギンだ。

本書ではウクライナ・ロシア戦争を理解するための知識、ウクライナの地理、歴史、さらにソビエトとは何だったのか、そして 2014 年に始まるウクライナ内戦まで取り上げる。お付き合いいただければ幸いである。

第一章　ウクライナ

■戦争の名前

2022 年 2 月から始まったロシア連邦によるウクライナ侵略戦争は、2022 年 6 月現在、統一された名称が存在しません。このため本稿では仮にウクライナ・ロシア戦争とし、その略称として「宇露戦争」を用います。ただし、あくまで本書における名称であり、どこでも通用するものでは無いのにご注意ください。ちなみにウクライナの正式国名は国家体制に関する記述、共和国だの合衆国だのは無しで単に「ウクライナ（Україна）」。この点は日本国と同じです。

参考までにロシア側の名称としては、「特殊軍事作戦（Специальной военной операции）」という呼び方が半ば公式扱いされています。これは 2022 年 2 月 24 日朝 5:30（モスクワ時間）に行われた開戦演説の中でプーチン大統領が初めて使用した名称です。ただし説明不足で判りにくいため「ウクライナにおける軍事作戦（Военная операция на Украине）」といった言い回しが使われる場合が多くなっています。いずれにせよ「戦争」という言い方を徹底的に避けているのに注意してください。ロシアは今回のウクライナ侵略を戦争とは認めてないのです。

ついでに開戦日の朝 5 時半、ラジオ体操みたいな時間に始まったプーチン大統領による開戦演説の主要分を確認して置きましょう。

ドンバス人民共和国がロシアに支援を要請している。
このため2月22日にロシア連邦議会がドネツク人民共和国及びルガンスク（*）人民共和国と批准した友好相互扶助条約に従い、さらにロシア連邦評議会の承認を得た上で国連憲章第7部第51条に基づき特殊軍事作戦を実施する。その目的はキエフ（**）政権によって8年間、虐待と虐殺の危機にさらされてきた人々を保護することである。

（*）ルガンスクはロシア語読み。ウクライナ語ではルハンスク。
（**）同じくウクライナ語読みはキーウ。

簡単にまとめると、助けてと頼まれたから救援のためロシア軍をウクライナに進出させるよ、その目的はウクライナ政府によって生命の危機にさらされている人々の保護だよ、それ以外の領土的な野心なんてないよ、ホントだよ信じてよ、という話ですね。まあ全て嘘なんですけども（笑）。後で見るように、ロシアのウクライナ侵攻は純粋に領土的な野心からプーチン率いるロシア指導層が引き起こしたものです。

さらに言えば、そもそもロシアに支援を要請して来たとされるドンバス人民共和国（Народные республики Донбасса）という国家、私が知る限り地球上には存在しません（笑）。実在しない国からの救援要請で他国を侵略した近代国家は恐らく世界初ではないでしょうか。どうも早起きでちょっとパーになっていたプーちゃんの脳内で、ドネツク人民共和国とルガンスク人民共和国が勝手に変形合体してしまって造られた夢の国の可能性が高いと思われますが詳細は

不明。あるいはこの段階ではそういった名の傀儡国家をウクライナに造ろうと計画しており、うっかり口が滑った可能性もゼロでは無いですが…。とりあえずこの辺りのドンバス、ドネツク、ルハンスクに関する説明は後ほどやるので、意味が判らんと思ったら、そこを読んでからまたここに戻って来てください。

この演説で重要な点はもう一つ、国連憲章第 51 条への言及です。これは国連加盟国が武力攻撃を受けた場合、その自衛権行使を認める条文となっています。よって今回の場合、ウクライナが先にドンバス人民共和国（実在しない）に手を出したんだよ、助けてって頼まれたからロシア軍はドンバス人民共和国（実在しないけど）の救援に向かうんだよ、と主張しているわけです。この点は後に世界中の法学者からそんな自衛権があるか、とツッコミが入った部分です。泥棒が盗みに入った家の住人を撃ち殺し、抵抗する方が悪いのだ、これは自衛権の行使である、と主張するような話ですからね。

ちなみにこの演説の後半ではウクライナ政府の連中はネオナチだ、だからロシア軍が何やっても許されるんだ理論、以後、ロシアが戦争の理由として何度も使ってくる奇妙な理論の基本形が登場するのですが、正直どうでもいいので割愛します。

一方のウクライナ側は「ロシアのウクライナ侵攻（Російське вторгнення в

Україну）」などを主に用いますが、こちらも正式な名称は決定されて無いようです。いずれにせよ、本稿では宇露戦争の表記で統一します。

同時にこの戦争は両者の宣戦布告が無いため開戦日時が問題なのですが、本稿ではプーちゃんがラジオ体操並みの早朝から演説し、同時にロシアがウクライナへの大規模侵攻を開始した 2022 年 2 月 24 日を開戦日とします。この点は両国の認識もほぼ同じなので問題はないでしょう。

■地名

次にウクライナの地名表記に関して確認しておきます。

この戦争に至るまで日本語のウクライナ地名表記はソビエト連邦時代のもの、すなわちロシア語発音に沿ったものでした。それがこの戦争を境にウクライナ式発音に変更される事になり、政府広報や主な報道機関はこの指針に従っています。ウクライナ語はローマ字表記のように同じ文字の組み合わせなら同じ発音になる言語ですが（ただし絶対では無い）、そもそも日本語に無い音などがあるので話は単純ではありませぬ。さらに言えばウクライナ語はロシア語と同じスラブ系言語、文字も同じキリル文字の兄弟言語ですが、ロシア語には無い文字もあり、細かい相違点は多くなっています。

とりあえず本稿では日本語発音が判る土地については日本語表記+ウクライナ語表記を、日本語読みが判らない場合はラテン文字表記+ウクライナ語だけで示し、二回目の登場からは日本語、またはラテン文字の表記のみに簡略化します。参考までに、外務省欧州局が 2022 年４月 1 日という要らぬ疑惑を持たれやすい日付で交付したウクライナの地名対照表（欧東合第 184 号）に掲載されている地名は以下の通り。

●地名等

■**クリミア半島**（Крим/Crimea）　表記変更なし。ウクライナの南方にある半島で独立志向が強い土地だった。2014 年以降、ロシアが実効支配中。

■ドニエプル川→**ドニプロ川**（Дніпро/Dnipro）　ウクライナ本土を南北に縦断し黒海に注ぐ大河。首都キーウを東西に分断し、さらにウクライナ本土も東西に分割する。その一部はダムによって湖のようになっており、最南端に位置するノーバ・カホフカ（Нова´ Каховка/Nova Kakhovka）水力発電所の貯水池はクリミア半島北部の水源にもなっている。すなわちロシアがクリミア半島を実効支配した後も水源はウクライナに握られていた事になる。このため今回の戦争でロシアは早い段階からここを抑えに来た（3 月 2 日ごろに完全占拠）。ただしここを水源とするのはクリミア半島の北部のみで、セバストポリなどの

重要都市がある南部は関係ない。ちなみにドニプロ川は北の隣国ベラルーシ、さらにはロシア国内も通過しており、そちらにも別の呼称がある。ただし本書で取り上げるのはウクライナ国内だけなのでドニプロ川の表記で統一する。

●都市名

■キエフ→**キーウ**（Київ/ Kyiv）　ウクライナの首都。

■ハリコフ→**ハルキウ**（Харків/ Kharkiv）　ウクライナ第二の大都市で第二次大戦の激戦地。ちなみに当時の四度にわたる攻防戦は最初の占領時以外、常に侵略者側のドイツ軍が地元のソ連軍を迎え撃つ防衛戦だった。ロシア国境から30 ㎞程度の距離しかない位置にある。

■オデッサ→**オデーサ**（Одеса/Odessa）　ウクライナの南西部、黒海沿いにある大都市。何度聞いてもウクライナ語読みは従来と同じ「オデッサ」で問題無いと思うが本稿では表記統一のため外務省推奨表記に従う。

■**ドネツク**（Донецьк/Donetsk）　変更なし。ドンバス地方ドネツク州にある親ロシア派の拠点の街。ドネツク人民共和国（後述）の首都でもある。

■ルガンスク→**ルハンスク**（Луганськ/Luhansk）　ドンバス地方ルハンスク州にある親ロシア派拠点。ルハンスク人民共和国（後述）の首都でもある。

■チェルノブイリ→**チェルノービリ**（Чорнобиль/Chernobyl）原発事故で知られる土地だが、今回の戦争ではロシア軍による首都キーウ侵攻ルート上に位置したため、開戦直後に占領された

■**マリウポリ**（Mapiy´поль/Mariupol）　変更なし。アゾフ海沿いにある港湾都市。今回の戦争における激戦地の一つとなった。かつては 40 万の人口を抱えるウクライナを代表する工業都市の一つであり第二次大戦前に建てられた歴史ある製鉄工場のアゾフスタル（Азовсталь）で有名だった。今回の戦争ではこの工場が市内の攻防戦における最後の激戦地となる。

■ウクライナとソビエト＆ラーダ

ウクライナはソビエト連邦の崩壊に伴い、1991 年 6 月に独立を果たした国です。1996 年の憲法制定まではウクライナ共和国（Українська Республіка）を名乗っていましたが、これは現在のウクライナと同じ国と考えて問題ありませぬ。

ちなみに独立以前にウクライナが属していたソビエト連邦は“世界初の共産主義国家”でした。ただし“共産主義”は本来、あらゆる「国家」を解体し、無産者階級（労働者、農民、兵士など）による国境を越えた統一政治機関が世界を支配する事を目指していたので「共産主義国家」という存在は「塩分控えめ食塩」、